

9月イベント情報

だっこのおはなし会 図書館スタッフ

0歳からの乳幼児向けおはなし会。プレパパ、プレママもご参加ください。

日 時 ①9月4日(木) ②9月18日(木) ③9月25日(木)

いずれも午前10時30分～

場 所 ①②3階図書館おはなし広場
③古北にじろ会館 2階図書・学習室

対象者 乳幼児

その他 9月18日(木)のだっこのおはなし会の前後(各1時間)で
7か月から3歳児を対象に無料託児サービス(申込先着順)を行います。
申し込みは9月1日(月)～10日(水)に電話または直接図書館へ。

認知症サポーター養成講座

認知症の症状や予防についてのよくある質問と一緒に学んで

認知症サポーターになりませんか。

日 時 9月6日(土) 午前10時～11時30分

場 所 図書館3階イベントホール

対 象 市内在住または在勤の方

定 員 30人(申込先着順)

申 込 8月2日(土)午前8時30分から電話または申込フォームにて受付。

問合せ 江南南部地域包括支援センター(☎55-5470)へ。

共 催 江南市立図書館

わらべうたのおはなし会 図書館スタッフ

絵本の読み聞かせやわらべ歌で手遊びを行います。

日 時 9月7日(日) 午後3時～

場 所 3階図書館おはなし広場

対象者 幼児、小学校低学年

読み聞かせ会

絵本や紙芝居などの読み聞かせを行います。

日 時 9月13日(土) 午後3時～

場 所 3階図書館おはなし広場

朗読者 朗読ボランティア あめんぼ

対象者 幼児、小学校低学年

みんなでブックトーク「映画の原作を読もう」

映画化された本を読んで映画と本について語り合しましょう。

日 時 9月14日(日) 午後2時～

場 所 4階図書館グループ学習室

運 営 江南ブッククラブ

対象者 18歳以上

定 員 10人(当日先着順)

認知症サポーターステップアップ講座

サポーター活動を知るためのステップアップ講座を行います。

日 時 9月20日(土) 午前10時～11時30分(9時45分から受付)

場 所 toko*toko*labo1階 地域交流センター会議室1

対 象 市内在住または在勤の認知症サポーター養成講座修了者

申 込 8月30日(土)午前8時30分から電話または申込フォームにて受付。

申込先 江南南部地域包括支援センター(☎55-5470)へ。

共 催 江南市立図書館

江南あおむしの会「絵本を楽しむ会」

絵本作家「みやにしたつや」を特集します。

日 時 9月20日(土) 午前10時～

場 所 4階図書館グループ学習室

運 営 江南あおむしの会

対象者 18歳以上

定 員 10人(当日先着順)

耳で楽しむ読書体験！ストーリーテリング

絵本や紙芝居などを使わないおはなし会を行います。

日 時 9月20日(土) 午後3時～

場 所 3階図書館イベントホール

語り手 ストーリーテリングの会 江南おはなしのろうそく

対象者 5歳以上(大人も参加可)

工作教室「消える貯金箱を作ろう」 図書館スタッフ

鏡を使ってコインが消える貯金箱を作ります。

日 時 9月21日(日) 午後3時～

場 所 4階図書館グループ学習室

対象者 小学生

定 員 10人(当日先着順)

ライブラリーシネマ「正直不動産 SPECIAL」

嘘のつけない営業マン・永瀬とカスタマーファースト命の月下が

それぞれの大切な人たちを救い出すべく奮闘します。

日 時 9月23日(火・祝) 午後4時～

場 所 3階図書館イベントホール

定 員 40人(当日先着順)

石ころアート教室「海のプレートづくり」

石の魚に色をつけて、海のプレートを作ります。

日 時 9月27日(土) 午前10時～

場 所 4階図書館サポーター室

講 師 川口邦彦

対象者 小学生(低学年は保護者同伴)

定 員 10人(抽選。当選者のみはがきを発送します)

料 金 100円(当日集金)

申 込 9月6日(土)～15日(月・祝)に電話または直接図書館へ。

英語でのおはなし会

英語の絵本の読み聞かせを行います。

日 時 9月27日(土) 午後3時30分～

場 所 3階図書館おはなし広場

朗読者 江南市国際交流協会「ふくらの家」

対象者 幼児、小学生

おはなし会with工作教室 図書館スタッフ

おはなし会と工作教室を行います。

日 時 9月28日(日) 午後3時～

場 所 古北にじろ会館 2階集会室

対象者 幼児、小学校低学年

定 員 5人(当日先着順)

10月イベント情報

清須市はるひ美術館長アートトーク「国芳のおバケ発想力」

浮世絵と言えば、「美人画」「役者絵」「風景画」などが現代でも人気ですが、「化け物絵」というのがあります。「化け物絵」といえば歌川国芳、国芳の思いはエンターテインメントです。役者でも美人でもアッと驚く凄みです。その秘密をお話します。

日 時 10月4日(土) 午前10時～

場 所 3階図書館イベントホール

講 師 高北幸矢(清須市はるひ美術館)

定 員 50人(申込先着順)

申 込 9月20日(土)～28日(日)に電話または直接図書館へ。

笑顔の子育て心理学セミナー「発達グレーゾーンの対応について」

心理カウンセラーが子育ての悩みや不安に役立つ心理学講座を行います。

今年は発達グレーゾーンと言われる子どもの対応について学びます。

日 時 10月5日(日) 午後2時～

場 所 3階図書館イベントホール

講 師 鷲津秀樹(NPO法人日本次世代育成支援協会)

定 員 50人(申込先着順)

申 込 9月13日(土)～28日(日)に電話または直接図書館へ。

その他 無料託児サービス(抽選)を行います。

詳しくは9月13日(土)～23日(火・祝)に電話または直接図書館へ。

共 催 ほその小児科

宮沢賢治連続講座「賢治詩を旅するーイーハトーブの言葉たちー」

宮沢賢治をテーマにした講座(全4回)の第2回を行います。

難解とされる宮沢賢治の詩は故郷のイーハトーブ「岩手県」への想いであふれています。有名な作品の意外な読み方も含め、一緒に「謎解き」の旅へ。

日 時 10月13日(月・祝) 午後2時～

場 所 3階図書館イベントホール

講 師 太田昌孝(桜花学園大学)

定 員 50人(申込先着順)

申 込 9月27日(土)～10月5日(日)に電話または直接図書館へ。

江南市と日本酒特集

勲碧酒造株式会社
丸井合名会社
山星酒造株式会社

お酒の本紹介

9月イベント情報



木曽川の南部に位置する江南市周辺では、豊富な水を利用して古くから日本酒が造られてきました。今日でも「勲碧酒造株式会社」「丸井合名会社」「山星酒造株式会社」の3つの蔵が市内で酒造りを続けています。

2015年には「江南市乾杯条例」が施行されました。この条例は、木曽川の恵みに感謝しつつ、地域の文化および郷土の歴史への理解を深めるとともに、地酒の普及を促進することを目的としています。

参照:江南市ホームページより

江南市と日本酒

日本酒は「特定名称酒」と「普通酒」の2種類で、「特定名称酒」は【本醸造】【純米】【吟醸】の3種類に分けられます。この「特定名称酒」3種類に含まれないものを、総称して「普通酒」といいます。

参照:『匠が教える酒のすべて』

大越智華子/著 三笠書房(588.5 円)より



5月号でご紹介した、布袋駅商業施設「MOKUKICHI」のお店「123 un deux trois」では、江南市の3つの蔵元のお酒を呑み比べることができます。仕事のため、取材班は残念ながら飲めませんでしたが、おつまみと共にいただけます。

図書館からのお知らせ

■館内整理のため、毎月第2・第4木曜日がお休みになります。9月は11日(木)・25日(木)です。

※学習室はご利用いただけます。休館日のご利用時間は9:30～17:30です。

■本は大切に扱ってくださいますようお願いいたします。

破れた時はカウンターにお申し出ください。図書館で修理いたします。

※多くの方にご利用頂くために書き込み・切り取りはしないようお願いいたします。

■DVD等視聴覚資料の取扱いは慎重をお願いいたします。

弁償となった場合は著作権分が市販価格に上乗せとなり、高額となる場合がございます。

■申込の際にいただいた個人情報については図書館運営に必要な範囲で利用させていただきます。



発行

江南市立図書館

〒483-8157 江南市北山町西 300 番地 toko*toko*labo3・4 階

TEL:(0587)56-2306 URL:https://lib-konan.aichi.jp/



2025年

9月

江南市立図書館

布袋発の図書館情報誌

勲碧酒造株式会社



▲勲碧酒造店舗

酒成分の約 8 割を占める仕込み水には、適度なミネラルを含む木曽川の伏水流（地下百メートル）をそのまま使用。酒米には愛知県産の「夢吟香」や岡山県産の「山田錦」「雄町」を使用しており、これらの素材が調和することで、口当たりがやさしく奥深い旨み特徴のお酒が仕上がります。



▲お酒を搾る機械

〒483-8128
愛知県江南市小折本町柳橋 88 番地
TEL 0587-56-2138
<http://www.kunpeki.co.jp/>

勲碧酒造の歴史

大正 4 年(1915 年)創業された酒蔵で、創業当初は「福神正宗」や「大乘」などの銘柄で親しまれてきましたが、1976年に「澄み渡る碧空」を意味する「勲碧(くんぺき)」と命名して、今日までの主力銘柄としています。
「勲(いさお)たて澄(す)む碧空(あおぞら)真(まこと)かな」
現在では、四代目蔵元村瀬公康さんが社長兼杜氏を務め、家族経営の元で伝統の技と味を守り、全工程を手作業で行う少量仕込みにこだわった酒造りを続けています。



▲冷蔵されたお酒

厳選された素材



丸井合名会社



〒483-8158
愛知県江南市布袋町東 202 番地
TEL 0587-56-3018



▲酒造りの様子

丸井合名会社の歴史

寛政 2 年(1790 年)に創業した江南市で一番古い酒蔵です。
「阿ら玉(あらたま)」という銘柄などを造っていましたが、昭和初期に「楽の世(らくのよ)」という銘柄のお酒を造るように。現在では、村瀬幹男さんが八代目として酒造りに励んでいます。

お酒の特徴はジューシー、フルーティーで味が強い無濾過の山廃仕込み。味がしっかりしているので、夏はロックやサワー、冬は熱燗がお勧め。蒸米と水に日本酒を造る酵母をまぜていき、3 回に分けて発酵させて醪(もろみ)を造る一般的な三段仕込みに加えて、しぼる直前に蒸米を足す四段仕込み(よだんじこみ)を全てのお酒で行っているも特徴。熱掛けともいい、蒸したての 100℃のお米を加えて味に深みをだしていきます。
江南市のお米「ゆめまつり」を四段仕込みに使用したお酒も。

こだわりの酒造り



▲酒造りの様子

山星酒造株式会社



五代目の村瀬恭平さんは薄れつつあった藤まつりの賑わいを取り戻すため、藤の花の酒造りに取り組みました。藤の花の第一人者・塚本こなみさん方の協力のもと、曼陀羅寺の藤の花を採取して酵母を探し、見つけた花酵母を使い 6 年の歳月をかけ、華やかな香りで風味豊かなしつかりとした味が特徴のお酒「藤華(ふじのはな)」を完成させました。お酒を入れる袋には江南のカーテンの端切れを使用しており、地元への愛に溢れています。

地元に根差したお酒

お酒の本紹介



『酒造りの歴史』
柚木学/著
雄山閣
(588.5 ユ)



『楽しい日本酒学入門』
新潟大学日本酒学
センター/編著
河出書房新社 (588.5 タ)



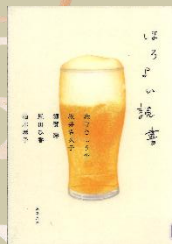
『日本酒はおいしい!』
ワダヨシ/編・著
浅井直子/編・著
パイインターナショナル
(588.5 ニ)



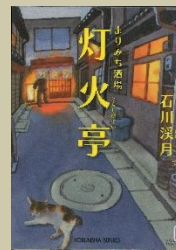
『ぶらりあるき
お酒の博物館』
中村浩/著
芙蓉書房出版
(588.5 ナ)



『日本全国日本酒でめぐる
酒蔵 & ちよこつと御朱印
東日本編』
地球の歩き方編集室/編集
地球の歩き方(588.5 ニ)



『ほろよい読書』
織守きょうや, 坂井希久子,
額賀滯, 原田ひ香,
柚木麻子/著
双葉社 (B913.6 ホ)



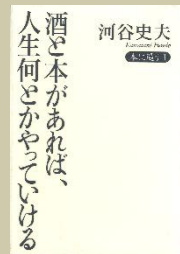
『よりみち酒場灯火亭』
石川溪月/著
光文社文庫
(B913.6 イ)



『おつまみ 100』
ワタナベマキ/著
宝島社(596 フ)



『つまみメシ』
リュウジ/著
主婦の友社 (596)



『酒と本があれば、人生
何とかやっていける』
河谷史夫/著
彩流社(019)